年間授業計画 新様式

高等学校 令和5年度（２学年用） 教科 理科 科目 生物基礎 年間授業計画

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ F 組

教科担当者： （ A組： 伊藤 ） （ B組： 伊藤 ） （ C組： 伊藤 ） （ D組： 伊藤 ） （ E組： 伊藤 ） （ F組： 伊藤 ）

使用教科書： （ 新編 生物基礎 数研出版 ）

教科 **理科** の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

科目 **生物基礎** の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら，生物とその変化について理解できるようにするとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。	自然や生物に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元名・指導項目・内容	単元の具体的な指導目標	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第1部生物の特徴 1章生物の特徴	多様に進化した生物の共通性を学ぶことで、進化の道筋や系統をへの理解を深める。また、バクテリアやアーキアなどの原核生物・真核生物の構造を学ぶことで、細胞レベルでも進化が起こっていたことを理解できるようにする。 全生物が共通して用いるエネルギー源であるATPについて学ぶことで生物の多様性と共通性について実感を伴った理解に至るようにする。	【知識・技能】 内容について理解しており、図と共に用語を理解している。 実験などに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物の共通性について思考しワークシートに落とし込むことができる。 内容を図として表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題に主体的にとりくみ、ワークシートに＋αの知識や学んだことを書き込んでいる。 課題の取り組みに加えて、学んだ成果をノートやPCに残したりしており、示すことができる。	○	○	○	7
				○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
	第1部生物の特徴 1章生物の特徴 第2部遺伝子とその働き 2章遺伝子とその働き	遺伝情報がDNAからなることが理解できている。 実験の手順をマスターし、それぞれの操作の意味を理解できるようにする。		○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
2学期	第2部遺伝子とその働き 2章遺伝子とその働き 第3部人の体の調節 3章神経系と内分泌系による調節	染色体、DNA、遺伝子の違いを理解し、遺伝子の発現の仕組みであるセントラルドグマの仕組みを理解できるようにする。 DNAの遺伝情報から生じるタンパク質のアミノ酸配列をつくることができるようにする。 自律神経系と内分泌系の違いを理解できるようにする。	【知識・技能】 内容について理解しており、図と共に用語を理解している。 実験などに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物の共通性について思考しワークシートに落とし込むことができる。 内容を図として表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題に主体的にとりくみ、ワークシートに＋αの知識や学んだことを書き込んでいる。 課題の取り組みに加えて、学んだ成果をノートやPCに残したりしており、示すことができる	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	第3部人の体の調節 3章神経系と内分泌系による調節 4章免疫	神経系と内分泌系による、恒常性の核反応について理解できるようにする。 自然免疫について理解できるようにする。 獲得免疫について理解できるようにする。 免疫と病気について理解できるようにする。		○	○	○	11
	定期考査			○	○	○	1
3学期	第4部生物の多様性と生態系 5章植生と遷移 6章生態系とその保全	植生の遷移について理解できるようにする。 バイオームの水平分布と垂直分布について理解する。 生態系とその保全方法や問題について問題意識を持てるようにする。		○	○	○	15
	定期考査						1
							合計 70